

証券コード:6469

2018年2月期 決算説明会資料

2018年 4月17日

株式 放電精密 加工研究所

目次



201	8年2	月期	決算概要
		7 -3 / 1/3	

2018年2月期のポイント	 P 3	□ 外部環境認識	₽14
2018年2月期 決算概要	… P 4	□ 中期経営計画業績目標のローリング	⋯P15
2018年2月期 損益計算書	… P 5	□ 中期経営計画2018概要	P16
2018年2月期 利益の変動要因	 P 6	□ 事業の選択と集中	₽17
2018年2月期 セグメント別概要	… P 7	■ 2019年2月期 決算概要	
・セグメント別詳細:放電加工・表面処理	… P 8	□ 2019年2月期 通期見通し	₽18
・セグメント別詳細:金型	… P 9	□ 2019年2月期 通期見通し/セグメント別	…P19∼
・セグメント別詳細:機械装置等	P10	□ 2019年2月期 設備投資·償却費·研究開発費	P23
2018年2月期 連結貸借対照表とCFの状況	P11	□配当	P24
2018年2月期 設備投資・償却費・研究開発費	P12	□ 2018年2月期 決算補足資料	…P25∼
		□ 事業概要補足資料	₽37~
		□ 用語集	…P47∼

■中期経営計画2018

2018年2月期のポイント



■ 成田爆発火災事故その後の状況

- ◇ 事故エリアであった自動車部品塗装ラインは、2017年11月初旬に復旧し、成田事業所の全面復旧完了 これに伴い、代替生産を2017年11月初旬で終了
- ◇ 事故原因に関しては、関係当局で現在も調査を継続中

■ 前期比増収・増益

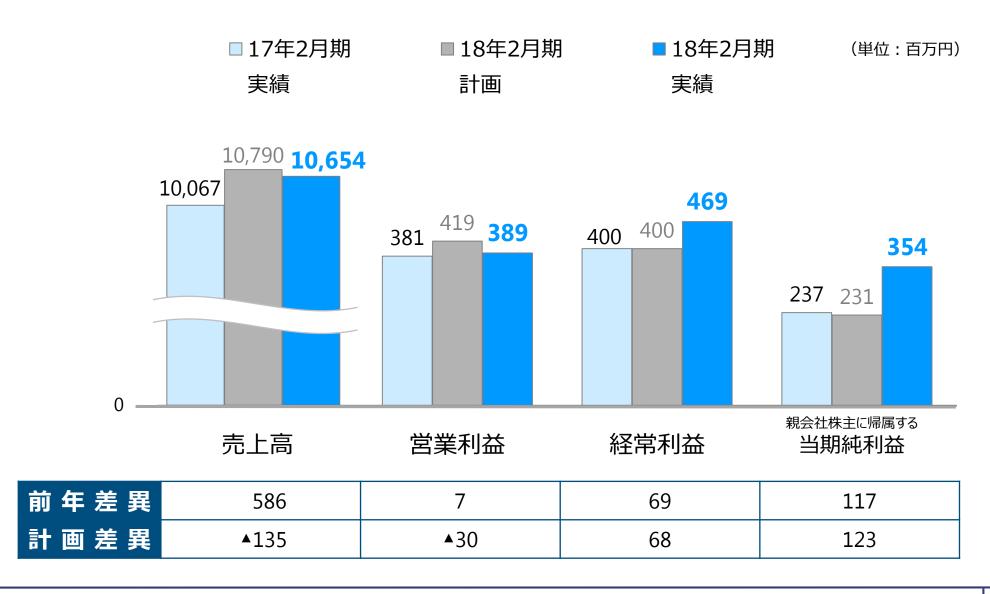
売	売 上 高		高	金型が好調に推移し、航空機エンジン部品事業の低圧タービンブレードが 本格量産開始と、ガスタービン関連部品の受注増等による増収
営	業	利	益	増収によるものと航空機エンジン部品事業の損失の減少
経	常	利	益	持分法適用会社の投資利益増加
親会	社 株 主	_{E に 帰} 純 禾		保険金収入と投資有価証券の売却により増益

計画比減収·増益

売	. 上 高		高	金型が増収もその他のセグメントで未達、全体では減収
営	業	利	益	減収と航空機エンジン部品事業の圧縮機・燃焼器部品の遅れ、 代替生産に伴う原価高の影響により減益
経	常	利	益	持分法適用会社の投資利益増加
親会		に帰属 屯 利	する 益	保険金収入と投資有価証券の売却により増益

2018年2月期 決算概要(前期比・計画比) ////





2018年2月期 損益計算書

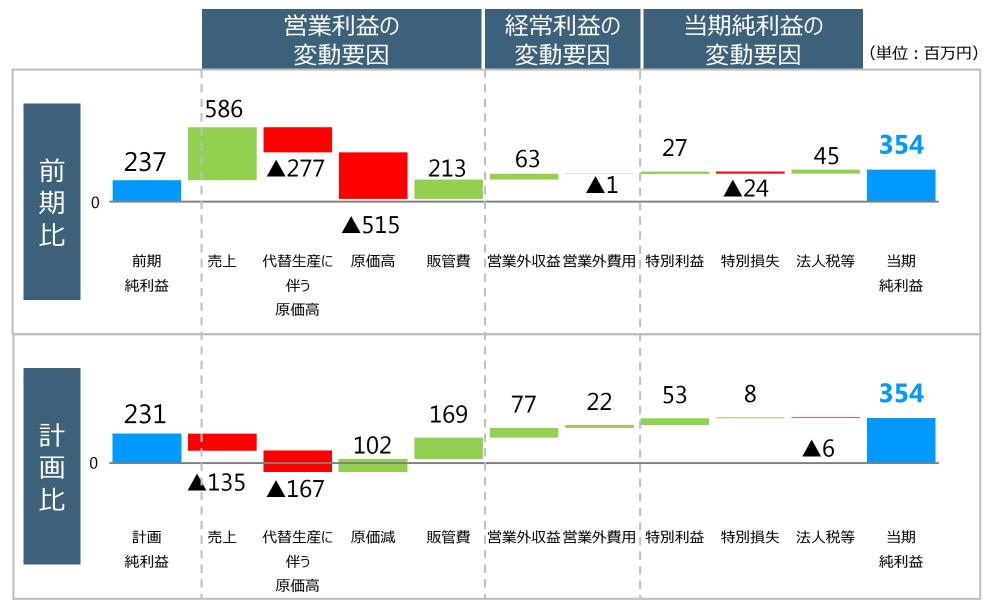


(単位:百万円)

	(手位・日/リコ)									
				17年2月期	18年2月期	18年2月期	売上高比率			
					実績	計画	実績	前期	計画	当期
売		上		高	10,067	10,790	10,654	100.0	100.0	100.0
売	上		原	価	7,587	8,315	8,380	75.4	77.1	78.7
売	上	総	利	益	2,479	2,474	2,273	24.6	22.9	21.3
販		管		費	2,098	2,054	1,884	20.8	19.0	17.7
営	業		利	益	381	419	389	3.8	3.9	3.7
営	業	外	収	益	68	54	131	0.7	0.5	1.2
営	業	外	費	用	49	73	51	0.5	0.7	0.5
経	常		利	益	400	400	469	4.0	3.7	4.4
特	別		利	益	25	_	53	0.3	-	0.5
特	別		損	失	14	47	39	0.1	0.4	0.4
税金	È等 調	割整 i	前純和	引益	411	353	483	4.1	3.3	4.5
税	金		費	用	173	121	128	1.7	1.1	1.2
親会	注社株 期	主に純	帰属利	する 益	237	231	354	2.4	2.1	3.3

2018年2月期 利益の変動要因





2018年2月期 セグメント別概要



(単位:百万円)

		売」	上高		営業利益			
	17年2月期 実績	18年2月期 計画	17年 10月17日 見通し	18年2月期 実績	17年2月期 実績	18年2月期 計画	17年 10月17日 見通し	18年2月期 実績
放電加工	4,345	4,742	4,740	4,709	86	58	▲ 115	▲ 153
表面処理								
金型	3,702	3,754	4,004	4,065	1,046	975	1,051	1,051
機械装置等	2,020	2,293	2,046	1,879	302	359	304	270
全社費用					1 ,053	▲ 973	▲ 821	▲ 779
合 計	10,067	10,790	10,790	10,654	381	419	419	389

※17年10月17日見通し=2018年2月期 第2四半期決算説明会時の見通し

セグメント別詳細:放電加工・表面処理



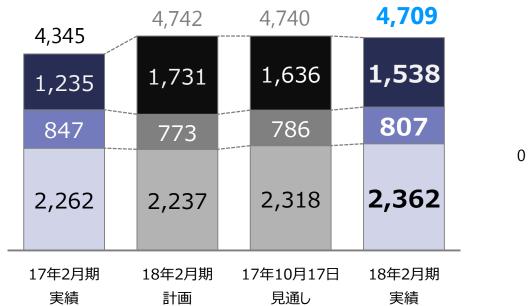
18年2月期

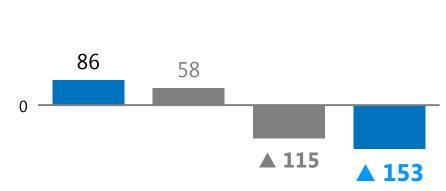
実績



□環境・エネルギー ■交通・輸送 ■航空・宇宙

(単位:百万円)





18年2月期 17年10月17日

計画

見通し

市場動向

航空・宇宙: 新型旅客機向けに市場は活発も材料の供給体制が遅延

交 通 ・ 輸 送 : 自動車関連は国内・海外向けトラックが好調

環境・エネルギー: プラント関連は引き続き低調

業績要旨

- ◇ **航空・宇宙**関連では、航空機エンジン部品事業の低圧タービンブレードが本格量産開始も 材料遅れの影響と圧縮機・燃焼器部品の生産アイテム変更に伴い計画未達成
- ◇交通・輸送関連では、自動車関連部品表面処理で増収
- ◇環境・エネルギー関連では、ガスタービン関連部品の顧客生産体制の再構築に伴い、一時的に受注増

17年2月期

実績

◇前期比増収も代替生産による原価高と圧縮機・燃焼器部品の各種遅延により減益

セグメント別詳細:金型

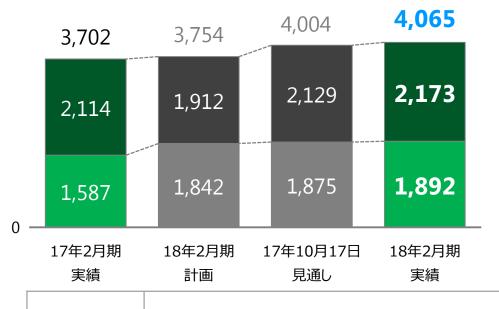


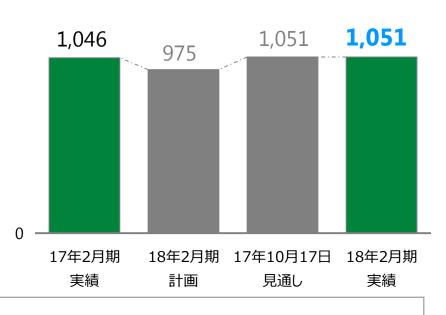
売 上 高

■交通·輸送 ■住宅

営 業 利 益

(単位:百万円)





市場動向

宅: 住宅着工件数は横ばいもオリンピック需要が増加

交 通 ・ 輸 送 : 世界各国での排ガス規制の強化により、排ガス浄化用装置の需要は好調

業績要旨

- ◇住宅関連では、住宅向けアルミ押出用金型は、都市開発向けのビル建材受注活況により、増収
- ◇交通・輸送関連では、セラミックスハニカム押出用金型は、増産体制の効果もあり増収
- ◇増収に伴い、増益

セグメント別詳細:機械装置等

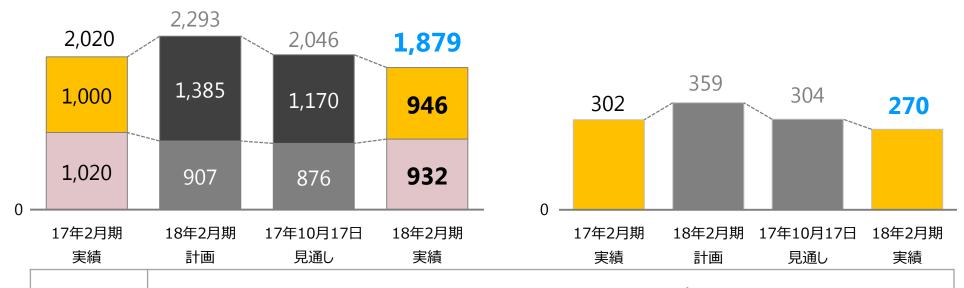


売 上 高

営 業 利 益

■交通・輸送 ■機械設備

(単位:百万円)



市場動向

機械設備: 設備投資は改善傾向も自動車部品向け大型プレス機は鈍化

交通・輸送: 自動車関連は堅調

業績要旨

- ◇機械・設備関連では、小型プレス機が販売目標に届かず計画未達
- ◇交通・輸送関連では、量産アイテムにおける主要部品の一部の減産影響を試作開発案件でカバー
- ◇減収に伴い減益

2018年2月期 連結貸借対照表とCFの状況 上ノス



対前期末連結貸借対照表

(単位:百万円)

流動資産

5,330

前年比: ▲ 350

固定資産

9,646

前年比: 187

流動負債

3,575

前年比: ▲ 150

固定負債

4,201

前年比:

▲ 269

純資産

7,199

前年比: 257

資産の部

負債純資産の部

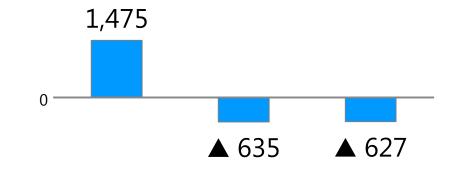
自己資本比率

2018年2月期 : 48.1% 2017年2月期 : 45.9%

キャッシュ・フロー

(単位:百万円)

	17年2月期 実績	18年2月期 実績
現金及び現金同等物の期末残高	554	767



営業CF 投資CF 財務CF

2018年2月期 設備投資・償却費・研究開発



設備投資/減価償却費

(単位:百万円)

	17年2月期 実績	18年2月期 計画	18年2月期 実績
設 備 投 資	451	1,500	967
減価償却費	905	1,115	905

2018年2月期 主な投資案件

- ◇セラミックスハニカム押出用金型増産対応
- ◇全社安全対策の強化
- ◇成田事業所 自動車部品表面処理 新ライン

研究開発費

(単位:百万円)

	17年2月期	18年2月期	18年2月期
	実績	計画	実績
研究開発費	348	171	74

2018年2月期 研究開発案件

- ◇炭素繊維(CFRTP)成形技術開発
- ◇放電加工高速化基礎研究
- ◇電解加工生産性向上
- ◇完全クロムフリー塗料の機能性向上



中期経営計画2018 2018年4月5日発表

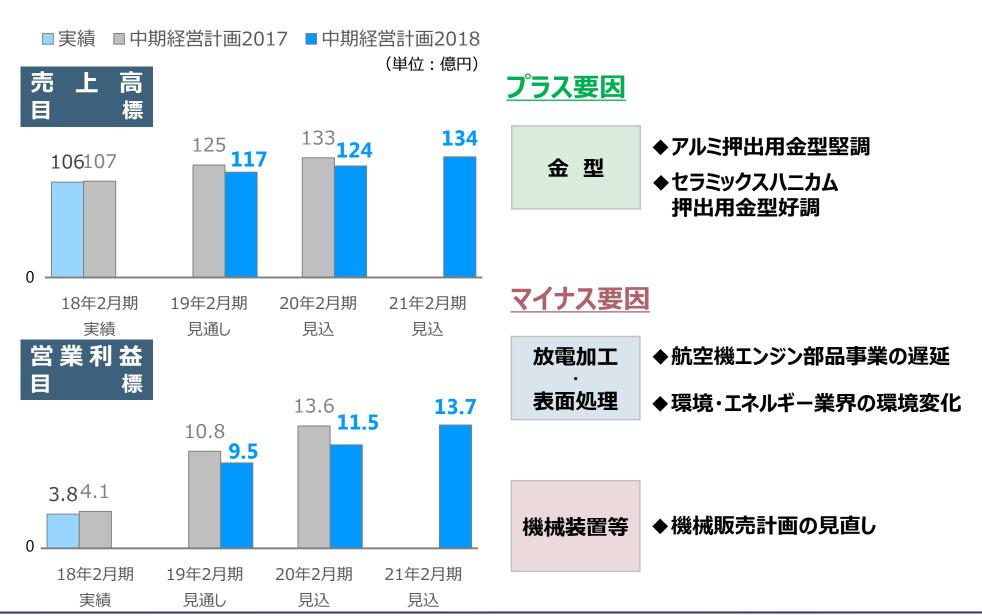
外部環境認識(2018年3月より3ヵ年)



ドメイン	外部環境認識
航 空・宇 宙	世界規模で航空機市場は活発、新興国の需要増とLCCの浸透により、 需要は依然として拡大機体生産の遅延や材料の納入遅れが若干発生するリスクがあり従来の軍事・研究開発からビジネス目的の宇宙開発へ市場変化
交 通・輸 送	■ 排ガス規制による浄化装置需要は依然として強い■ 自動車生産台数は国内減少、新興国は需要伸長■ EV・燃料電池車は増加もHV・ガソリン車比率は当面影響なし■ EV含む次世代自動車開発はより加速
環境・エネルギー	■ 世界的動向として、電力需要は伸びるが、火力ではなく 再生可能エネルギーの需要増加■ プラント業界は緩やかな回復の兆し■ 重電業界の価格競争が激化
住宅	■ 五輪関連施設や都市開発ビル建て替えの需要は2019年がピーク■ 住宅着工件数は、少子化・個人消費低迷で減少傾向
機械設備	■ 自動車向け素材、電池、電子材料、研究・開発の投資が伸長 ■ ビックデータ・IoT・AI等を活用した生産性向上や高性能化が加速 ■ 自動車業界向け大型プレス機の設備投資は堅調

中期経営計画業績目標のローリング





中期経営計画2018概要



スローガン: 常に信頼と感動を与える企業へ



安心第一への意識改革と浸透

事業の選択と集中

技術・技能伝承と人財定着と育成充実 新たな価値を提供できるものづくり革進 ガバナンスの強化

長期ビジョン(目指す姿)

当社に関わる全ての人々の 満足度の高い企業

長期経営方針

- 受託加工から部品メーカーへ進化
- 世界に通用する 航空機エンジン部品メーカーへ成長
- 自社製品の新たな土俵展開と 独創的なモノづくりの提供
- 企業価値の向上と世界で通用する人財の育成
- 健全な企業風土の醸成

事業の選択と集中



方針

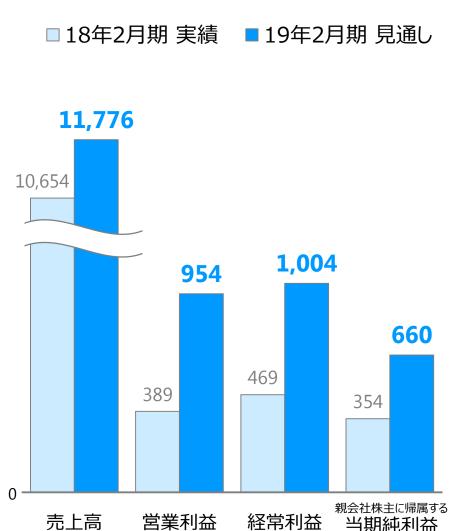
- 安定事業の更なる生産体制・技術力の強化
- 単一工程の受託加工から一貫加工への転換を図り、 部品メーカーへの成長軌道へ
- 海外市場への拡販
- AI・IoTを駆使した次世代ものづくりの探求
- 自社開発・他社とのオープンイノベーションによる 新規事業の創出

2019年2月期 通期見通し



航空機エンジン部品事業の本格量産等により大幅な増収・増益を見込む

(単位:百万円)



	18年2月期 実績	19年2月期 見通し	前期差	前期比
売 上 高	10,654	11,776	+1,121	110%
営業利益	389	954	+ 565	245%
経常利益	469	1,004	+535	214%
親会社株主に帰属する 当期純利益	354	660	+305	186%

	19年2月期 上期見通し	19年2月期 下期見通し	〈参考〉 18年2月期 上期実績	〈参考〉 18年2月期 下期実績
売 上 高	5,521	6,254	4,963	5,691
営業利益	286	668	37	351
経常利益	324	680	64	405
親会社株主に帰属する 当期純利益	209	451	32	322

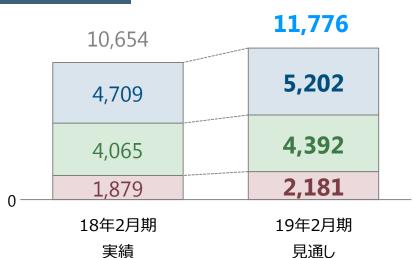
2019年2月期 通期見通し/セグメント別

··· 세ᅖᇚᆱᇒᄊᄽᄽᄱᇄ



(単位:百万円)

売 上 高



	18年2月期 実績	19年2月期 見通し	前期 増減額
放電加工·表面処理	4,709	5,202	+492
金型	4,065	4,392	+326
機械装置等	1,879	2,181	+302
合 計	10,654	11,776	+1,121

呂弟	宫 美 利 益 ※全社費用調整後営業利益		川益	
		954		
	389	/	305	
	1,051		1,263	
0	270	/	328	
	▲ 153	_		
	18年2月期		19年2月期	
	実績		見通し	

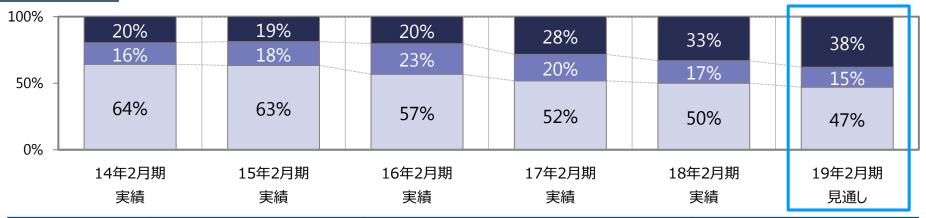
	18年2月期 実績	19年2月期 見通し	前期 増減額
放電加工·表面処理	▲ 153	305	+459
金型	1,051	1,263	+211
機械装置等	270	328	+ 57
全 社 費 用	▲ 779	▲942	▲ 162
合 計	389	954	+ 565

セグメント別詳細:放電加工・表面処理



売上構成

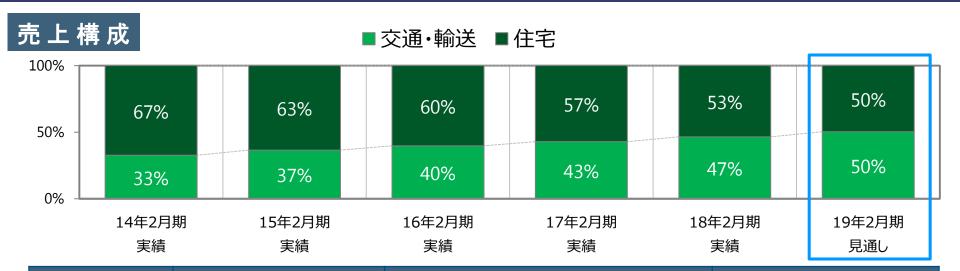
□環境・エネルギー ■交通・輸送 ■航空・宇宙



テーマ	主力 アイテム	重点施策	2019年2月期 見通し
航空•宇宙	低圧タービンブレード 圧縮機・燃焼器部品 部分受託加工	■ 収益安定化の為に安定操業■ SCMの構築■ 新規案件への活動	圧縮機・燃焼器部品の 本格量産開始によって 事業収益の改善を見込む
交通•輸送	自動車関連部品 表面処理	■ 安全管理体制の強化■ 生産性の向上	事故影響が解消し、 収益回復を見込む
環境 エネルギー	ガスタービン関連部品 遠心圧縮器関連部品 塗料(ZEC等)	■ 保有技術の改善・最適化■ 生産性向上による競争力強化■ 海外市場への戦略的施策	業界環境は厳しいが、 堅調な推移を見込む

セグメント別詳細:金型

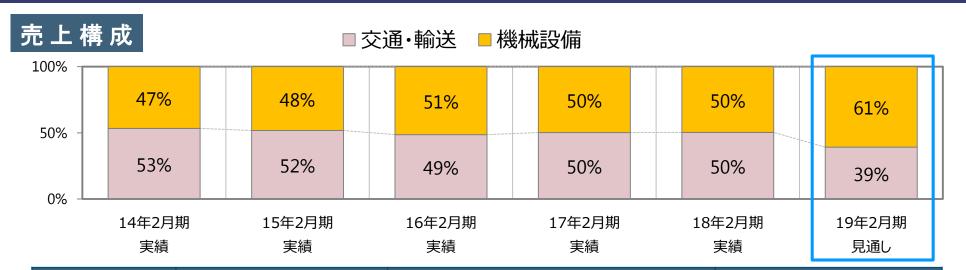




テーマ	主力 アイテム	重点施策	2019年2月期 見通し
住宅	アルミ押出用金型 樹脂押出用金型 銅押出金型	■ 保有技術の更なる強化■ コスト競争力の強化■ 高付加価値・サービスの拡充	前期並に推移する見込み
交通•輸送	セラミックスハニカム 押出用金型	■ 安定した生産体制の確立■ 顧客ニーズにあった技術の開発	引き続き、 順調に推移する見込み

セグメント別詳細:機械装置等





テーマ	主力 アイテム	重点施策	2019年2月期 見通し
機械設備	プレス機 (ZEN-Former) 工作機器部品	■ 他社との協業含む営業体制の強化■ 炭素繊維・高性能樹脂への拡販■ AI・IoTを駆使した提案と次世代ものづくりの探求	引き合い案件が 進捗良好の事から 伸びる見込み
交通•輸送	自動車用部品 電子部品 プレス工法開発	■ 成長アイテム・製品への リソース集中■ AI・IoTを駆使した提案と 次世代ものづくりの探求	量産アイテムは前期並みに 推移する見込み 試作開発案件の 早期実現に力を注ぐ

2019年2月期 | 設備投資・償却費・研究開発



設備投資/減価償却費

(単位:百万円)

	18年2月期 実績	19年2月期 見通し
設 備 投 資	967	1,330
減価償却費	905	878

2019年2月期 主な投資案件

- ◇圧縮機・燃焼器部品の生産体制の強化
- ◇低圧タービンブレードの生産性向上
- ◇ガスタービン部品の生産性向上
- ◇アルミ押出用金型の生産体制の効率化
- ◇安全体制の更なる強化

研究開発費

(単位:百万円)

	18年2月期 実績	19年2月期 見通し
研究開発費	74	95

2019年2月期 主な研究開発案件

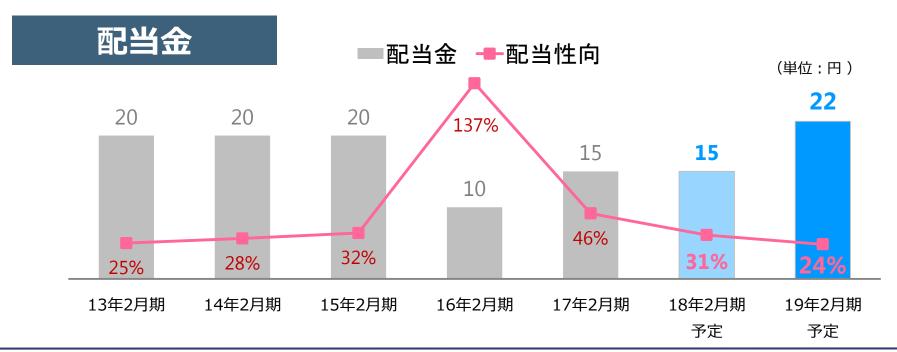
- ◇炭素繊維(CFRTP) 樹脂複合成形技術開発
- ◇完全クロムフリー塗料の機能性向上
- ◇電解加工のコスト削減と安定化技術の開発

配当



基本方針

株主様に対する利益還元を経営の最重要課題のひとつと考え、現在及び 今後の事業収益をベースに将来の事業展開や経営体質の強化のために 必要な内部留保資金の確保などを勘案し、配当性向30%を一つの目安として、 継続的かつ安定的な利益還元を実施します



独創技術でニーズにお応えする 株式放電精密加工研究所

本資料に記載された目標や予測等、将来に関する記載が記述があります。 資料作成時点での当社の判断に基づき作成したものであり、その情報の正確性を保証するものではありません。 また、様々な不確定要素が内在しておりますので、実際の業績や結果とは異なる場合があります。